

域性や時代の要請に依るための教育課程の変更や生徒にとって将来に役立つ資格取得など魅力ある教育内容の充実が図られております。

しかし、少子化の波の中で、同校への入学者の減少傾向は、今後もより一層厳しい状況にありますが、南富良野高等学校運営協議会と地域が一体となり、就学生徒の確保に努めてまいります。本年度も引き続き、通学費・資格取得検定料に対する助成をはじめ、国際交流派遣事業の実施と本校の特色でありますカヌー部、カーリング部などの部活動を支援するため必要な予算を計上いたしました。

本年度、学習指導で障害があり特別な教育的支援が必要な生徒が在籍することから、特別支援教育を行うため教員免許を持った臨時支援員を配置し、障害の状態に応じた指導と生徒の学力の向上を図る予算を計上いたしました。

### 本部町との親善交流事業

沖縄県本部町との子ども達との交流は、本年度で20回目と

### 簡易水道事業

簡易水道事業については、日々の生活に欠くことのできない飲料水を、常に安定的に供給するため、施設の維持管理にあたり万全を期し、合理的、かつ効率的な運営にも配慮しながら、生活用水の確保に努めているところであります。

水道の整備では、安定した水量の供給を図るため、幾寅地区簡易水道の2箇所ある老朽化した取水施設のうち、昨年度1箇所の更新工事を完了しましたので、本年度残り1箇所の更新工事を実施いたします。

### 公共下水道事業

公共下水道事業については、整備が概ね完了しましたので、今後は、下水処理場をはじめ、各施設の適正な維持管理により、処理能力を保持するための予算を計上いたしました。下水道料金については、「行財政改革大綱」に基づきまして、年次計画的に料金改定を行い、受益者負担の適正

なる記念の年であり、平成8年に「友好の町」として盟約調印を交わし、両町の絆を更に深めるための町内児童による親善交流に必要な予算を計上いたしました。また、本年度両町の職員間の交流研修について、検討してまいります。

### 千里大学

千里大学については、高齢化社会の中で、豊かで充実した生涯生活を過ごしていただくための一助として、所要の予算を計上いたしました。

### うるおいの南富良野

共につくるまちづくり

次に、豊かな自然と調和する快適な生活環境の整備と生活安全の強化をめざす、うるおいの南富良野―快適な生活環境のまちづくりであります。

### 地域基盤の整備

町民の日常生活や地域経済、社会活動を支える重要な社会資本であります道路については、計画的な整備と適正な維

化を図ることとしておりますので、本年度において下水道使用料の改定を行ってまいります。

### 環境衛生

環境衛生では、ごみ処理についてはより一層の減量化やリサイクルの推進が求められていることから、町民皆様の理解と協力を得ながら、分別の徹底及び減量化に努めてまいります。

一般ごみ処理費の有料化につきましても、その状況の推移を見ながら検討してまいります。

ごみについては、9種類のごみ袋により分別を、お願いしており、一般ごみ、燃えないごみ、生ごみ、プラスチックの4種類のごみ袋は、有料で店頭販売し購入いただきいておりますが、残り5種類の空き缶、空きびん3種類、ペットボトルのごみ袋につきましても、受益者負担の適正化を図るため、本年10月より有料とさせていただきます。継続して実施しております合併処理浄化槽設置整備事業

持管理に努めてまいります。

町道の整備については、幾寅鹿越線道路の舗装の一部オーバーレイ工事の予算を計上いたしました。また、平成21年度の繰越事業により幾寅北1線擁壁等改修工事、幾寅市街地北4条線歩道等工事を実施してまいります。

ここ数年異常発生しておりますマイマイガ対策として、町道・公共駐車場に設置しております街路灯のナトリウム灯への改修工事を平成21年度繰越事業として実施してまい



本年度開校20周年の節目を迎える千里大学

ります。

道々の整備は、石勝高原線のJR幾寅踏切付近の用地買収と金山幾寅停車場線の村田橋の耐震補修工事、鹿の沢橋の地覆と高欄の取替工事、昨年12月より片側通行の措置により行っている、鹿越大橋付近の法面落石対策工事が予定されております。

国道の整備については、38号線では、三の山峠の登坂車線設置工事について、本年度は用地買収の後、総工事延長1.8kmの内900m区間の工事を実施し、平成23年度に工事完成の予定となっております。また、237号線では、金山橋の上部架換工事が予定されております。

### 町営バス

町営バスについては、住民の足としてスクールバスとの一体運行により行っておりますが、現在の利用者の実態を踏まえまして、今後利用者の利便性を考慮した効率の良い運行が出来ないか、検討してまいります。

にデジタル方式の無線機に変更しなければならぬことから、通信指令業務の共同運用など、効果的な消防体制の充実に向けた検討を進めてまいります。

本年度は庁舎の一部改修を行ってまいります。

近年の火災発生の中でも住宅火災による死者がより多く発生していることから、消防法の改正により、平成23年6月までに住宅用火災報知機の設置が義務付けられており、設置の推進及び普及のため、関係機関、消防団との密接な連携を図りながら広報啓発に努めてまいります。

また、平成21年10月旭川赤十字病院にドクターヘリが配備され、救急救命医療の充実が図られたところであります。救急業務の傾向は、高齢化の進展や疾病構造の変化等、複雑多様化の一途をたどっており、より高度な知識と技術を備えた対応が求められることから、救急隊員の教育の充実、定年退職者の要員補充に救急救命士の採用、養成を推進するとともに医療機関と連携を図り、住民に対する応急

### 公営住宅

公営住宅の長寿命化を図るため、計画的に修繕を進めておりますが、平成21年度の繰越事業により、幾寅しらかば団地7棟14戸の屋根及び外壁の改修工事を実施してまいります。

### 定住促進

マイホーム建設促進事業については、町内に住宅の建設を促進するとともに町外からの移住を推進し、定住者の拡大と地域振興を図ることを目的として、住宅を新築などした場合に経費の一部を助成する制度を平成20年7月にスタートし、7名の方が利用されております。本年度も現在2件の新築予定がありますので、所要の予算を計上いたしました。

本年3月末で時限となります「南富良野町民間賃貸共同住宅建設促進条例」については、引き続き延長し、優良で低家賃の賃貸住宅の普及と建設を促進し、住宅の確保と定住促進に努めてまいります。

手当の普及啓発を計画的に推進してまいります。

### 防犯と交通安全の推進

防犯と交通安全については、富良野警察署など関係機関・団体と連携を密にし、交通安全事故や犯罪のない安心と安全が確保されるよう、より一層の推進に努めてまいります。

### 消費生活

消費生活については、特に高齢者など社会的弱者をターゲットにした悪質な訪問販売が依然として後を絶たない状況となっております。このような消費者被害が社会問題となっております。消費者が安全で安心な消費生活の環境が保たれるよう本年度につきましても富良野沿線5市町村の広域的消費生活相談窓口である「富良野市消費生活センター」による相談体制や社会福祉協議会との協力体制により、訪問販売などに対する消費者意識の啓発に取り組み、消費者保護に努めてまいります。



消防隊員による訓練の様子

は、本年度は1戸分の予算を計上いたしました。

### 消防の充実と強化

消防は、昨年4月に沿線5市町村が消防行政を共同で実施する広域連合をスタートさせ、関係市町村との緊密な連携と協力によって組織、施設、装備等の充実を図り消防力の強化に努めてきたところであります。

消防施設の充実であります。電波法改正に伴い、現在使用しているアナログ方式の無線機を平成28年5月末まで